



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：三荒弘道 副会長：高橋賢二 幹事：関口幸恵 クラブ会報・IT 委員会委員長：元吉裕員

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2024年 8月 8日 第 3479 回 週報第 3479 号

本日 8月 8日	会員数 62名	対象者 62名	出席者 39(39)名	出席率 62.90%			
前々回 7月 25日	会員数 61名	対象者 61名	出席者 39(39)名	出席率 63.93%	MUP 1名	計 40名	修正率 65.57%

本日の卓話者ご紹介

神奈川県立平塚ろう学校 校長 杉崎郁夫様



卓話

「積小為大」の精神で

神奈川県立平塚ろう学校 校長 杉崎郁夫

皆さん初めまして。平塚ろう学校校長の杉崎郁夫と申します。本日はこのような場でお話する機会をいただきありがとうございます。簡単に自己紹介をさせていただきます。自己紹介の文書をご覧ください。

大学卒業後、高等学校の国語教員として教職をスタートし、初めて特別支援教育に携わったのが現勤務校「平塚ろう学校」です。はじめは手話も指文字も全く分からずに「どうすれば良いのか・・・」と悩み多き毎日だったことを思い出します。その後、少しずつですが手話が分かり始めると日頃何気なく使っている言葉というものがどれほど大切なのか、その習得に向けて何をしていくべきなのか、コミュニケーションの基本は何か、など考えることができるようになってきました。そのあたりのことも含め、皆様にお伝えできればと思っています。

それでは説明に移らせていただきます。こちらの写真ですが本校を盲学校側から移したもので、塔のように見えているのが幼稚部の建物となります。左端のかまぼこ

型の屋根は体育館です。内部も木材がふんだんに使われており、暖かな雰囲気の校舎となっています。

県内の特別支援学校の状況となります。県立：本校 29校、分教室22教室の規模ですが、現状では教室不足が深刻化している状況もあります。今後も特別支援学校の整備は進められる予定となっています。聴覚障害部門のある県立特別支援学校は本校と相模原中央支援学校の2校です。相模原中央支援学校は病弱部門以外の4部門が設定されている学校です。県立以外のろう学校は、横浜、川崎、横須賀の3校です。国立の特別支援学校は2校あり、筑波大学附属久里浜特別支援学校と横国大教育学部附属特別支援学校となります。

こちらが平塚ろう学校の校章です。Hは平塚、Dはろう (Deaf) から取っています。神奈川県立の特別支援学校は養護学校の名称から支援学校に代わりましたが「ろう学校」「盲学校」は以前から同じ名称が継続されています。ご存じの方も多いかと思いますが私立中郡盲人学校内に中郡ろう話学校が設立され他とところから歴史が始まります。まもなく100周年を迎えることとなります。なお、100周年に関する行事は令和8年度に実施の予定です。設置学部は記載のとおりで、幼稚部から高等部まで在籍してる生徒もいます。また、乳幼児相談、通級指導も行っています。

本校のミッションは「共生社会の実現に向け、児童・生徒の自立と社会参加に向けて一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育」の実現となります。神奈川県教育委員



会は「すべての子どもたち一人ひとりが持つ自らの力では解決できないそれぞれの課題を「教育的ニーズ」としてとらえ、その教育的ニーズに適切に対応していく「支援教育」を推進してきました。さらに、この理念を踏まえ、共生社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び共に育つことをめざす、という基本的な考え方のもとで、インクルーシブ教育を推進しています。

本校のミッションはご覧のとおりとなります。上段は主に本校内での取り組むべき内容、下段は外部組織との連携が柱となる取り組み内容となります。手話の普及に関してですが、平成27年4月に神奈川県手話言語条例が施行されました。神奈川県手話推進計画には3つの方向性が示されており、①手話の普及、②手話に関する教育及び学習の振興、③手話を使用しやすい環境の整備、となっています。

平塚ろう学校の幼児・児童・生徒の在籍状況です。県内各地区から通学しています。遠方の場合、寄宿舎を利用している生徒もいます。聴覚障害といっても聞こえの状況は様々です。それぞれのお子さんの実態に合わせて最適な教育環境の選択が実現できるよう、様々な機関との連携を実施しています。先ほど聞こえの状況は様々、とお話ししましたが、例えばここにあるような実態を把握し、正確にアセスメントすることが求められます。補聴器にも様々な種類があります。人工内耳装着の幼児・児童・生徒の数は増えてきている傾向にあります。聴覚障害に関しての理解を深めていただく機会として今日のこの時間をいただいておりますが、このようにお考えの方もいらっしゃるのではないのでしょうか？私をはじめ同じような考えを持っていました。

補聴器に関しては画面のようなことを基本として押さえていただきたいと思います。補聴器がもっとも効果的に使える状況は静かな場所での1対1の会話です。しかし日常生活の中ではそのような場面設定をすることが難しいことのほうが多く、補聴器をしていても次のようなことがあります。遠くから話されたり、後ろから話しかけられたりすると気づかないことが多いです。また反響や騒音のあるところでは、補聴器が反響音や騒音も大きくするため、話を聞き取ることが難しくなります。（実際に風の音がうるさくて友達の声が聞こえにくかったと言っていた例もあります。）また精密機械なので、水や湿気、衝撃に弱いので取り扱いには注意が必要です。電池や充電で動きます。補聴器があれば聞こえに関する課題がすべて解決するというわけではない、ということです。

聞こえの実態が様々であることはお伝えした通りであり、コミュニケーションの際にも様々な情報を総合的に用いていますが、環境の影響を受けやすいということがあります。視覚障害を併せ持つ、盲ろうの方はさらに厳しい状況であると想像できます。よく聞く音の大きさを示すデシベルという言葉がありますが、日常生活における場面を図に示したものです。聴覚障害のあるお子さんの実態とその実態に対応する方法としてどんなことが考

えられるか、ということを示しています。

ろう学校ではこのようなコミュニケーションが日常的に心がけられている、ということになります。視覚的な情報が非常に重要であるということになります。コミュニケーションの際に心がけていただきたいこと、それは



手話での挨拶を教えてくださいました

きこえことばの相談支援センター 教育相談 (0~18歳)

きこえことばの発達、補聴機器のこと、家庭や学校、園での関わり方などについて、ご相談をお受けしています。

【相談方法】

- ◆電話
- ◆メール
- ◆オンライン
- ◆来校
- ◆在籍先への巡回

【相談内容】

- *補聴機器の扱い方を教えて欲しい
- *難聴について研修会をして欲しい
- *在籍先での活動の様子を見て欲しい
- *家庭での関わり方を知りたい
- *ことばの発達について相談したい...など

わかりやすいコミュニケーション

絵や写真 文字で確認

話がよ! 見て! 合図

聞き取りやすい 見てわかる

手話、指文字、ジェスチャー

口が見える、目を合わせ、短くはっきり

難聴児支援教材研究会「難聴理解かるた」より抜粋

ろう学校の授業の工夫～国語

質問への答え方 疑問詞

さしすおそちつて

身の回りのことば

漢字の読み方

ろう学校の授業の工夫～算数

読み方、数え方... 学習で使うことばを覚えます

公式、計算のルール 見て振り返ります

幹事報告

どうすればより良くお互いが伝えられるのか、受け止められるのか、ということ相手を相手の立場に立って考えていただく、ということになります。要するにコミュニケーションの原点に立つ、ということにつながると私は考えています。

ここからは各学部の紹介となります。幼稚部の目標となります。日課表です。小学部の教室の様子です。視覚情報が多く掲示されている様子がお分かりかと思えます。小学部の目標、日課表です。中学部です。高等部です。寄宿舎の外観、及び内部の様子です。寄宿舎では寄宿舎指導員が毎日の生活を指導し、日常生活を通して子供たちの成長を見守っています。部活動の状況です。全国のろう学校も生徒数は減少傾向であり、野球部やバレーボール部でも合同チームによる参加が珍しくありません。大会の運営も各聾学校が協力し合いながら対応している現状です。進路状況です。こちらも生徒の実態が様々であることを反映したものとなっています。

通級指導教室は、地域の小・中学校に通う聴覚障害児が、きこえやコミュニケーション等について学ぶ場です。先ほど各学部の状況を簡単にお伝えしましたがこちらに示したようなことが各聾学校においてはごく日常的に実施されていることとなります。視覚による情報提示、環境音を整える、といった工夫となります。例えば、算数の場合授業での工夫として視覚情報の提示の仕方の例となります。

国語に関しての例です。このように様々な工夫があるわけですが、聴覚障害についての理解を深めていただき、今後の対応に役立てていただければ幸いです。本日はどうもありがとうございました。



卓話者ご紹介

杉崎 郁夫 (すぎざき いくお) 様

- ・神奈川県立平塚ろう学校 校長
- ・昭和 38 年 7 月 12 日生まれ 兎年
- ・小田原市出身、小田原育ち、小田原在住
- ・座右の銘「積小為大」
- ・趣味 歩くこと クルマ 手話

◎ガバナー公式訪問について

先週のガバナー公式訪問にお越し下さいました佐々木ガバナーよりお礼状を頂きましたので、本日各テーブルに置かせて頂いております。どうぞ、ご一読ください。

なお、クラブからガバナーへのお礼状は、例会翌日に郵送をしております。また、本日ガバナー公式訪問の際に開催されました懇談会についての報告をお配りさせて頂きました。参加出来なかった方は特に御目通し下さいませようお願い致します。

◎藤原和奏さんチャリティーコンサートについて

4日(日)に、先日まで案内いたしました、2022-24地区財団奨学生としてロシアにピアニスト留学をされていた藤原和奏(わかな)さんが、戦争によりウクライナからロシアへ避難をしてきている難民を目の当たりにし、自分たちにも戦争難民に何か支援が出来ないか?との思いから地区財団と協力して開催されたチャリティーコンサートに会長と二人で行ってまいりました。

彼女は戦争により、ロシアから帰国せざるを得なくなり、フランスに再留学となりましたが、留学先での戦争勃発というとても大きな経験をし、それを経験だけに終わらせず、自分でも何か出来ないか?と更に1歩踏み出し行動に移されました。彼女に限らず、多くの奨学生の皆さんの今後のご活躍もとても楽しみだと強く思えた1日でした。

◎第1回情報集会について

来月、9月5日は第1回情報集会報告会です。先般よりご案内差し上げておりますが、各グループの幹事さんは日程等がきまりましたら、開催日、場所、人数を事務局までご連絡お願い致します。

なお、今月はホテルでの例会が本日で最後となる為、例会時を使って一人2,000円の補助金をお渡しする機会がございません。お手数をお掛け致しますが、幹事さんは事務局まで足をお運び頂きお受け取り下さい。

また、事務局が留守の場合もございますので、お受け取りの際には、必ず事前にご連絡をお願い致します。そして、報告書の提出は必ず9/5までお願い致します。週報作成が遅れてしまいますので、ご協力をお願い致します。

◎今後の例会スケジュールについて

次週8/15は祝日週で例会は休会となります。また、翌週8月22日は翌日23日(金)に行われる【ひらつか花火大会】への移動例会となりますので、ホテルでの例会はございません。更に翌々週の8月29日は五週目となり、休会です。ホテルでの通常例会は9/5(木)になります。8月のホテルでの例会は本日が最後です。くれぐれもお間違えの

無いようによろしくお願い致します。

◎事務局夏季休暇について

事務局についてご案内です。8/10(土)～13(火)は事務局がお休みとなります。8/10(土)～13(火)の間に緊急のご連絡がございましたら、関口へお願い致します。

委員会報告

○プログラム委員会 原田篤志委員長

9月の例会案内を致します。
 9月5日は情報集会になります。
 9月12日は能登半島地震に実際救助に行かれた平塚市職員の方の卓話です。
 9月19日は休日週の為例会休会となります。
 9月26日は塚田順朗会員の入会記念卓話となります。

○小林誠会員

先日お亡くなりになられた清水雅広さんを偲ぶ会の日程が決まりました。9月21日、ホテルサンライフガーデンにて開催されることとなりました。



卓話をされた杉崎郁夫様(中央)と三富正規AG(右)



秦野ロータリークラブより郭根男(かく くんなむ)会長(中央)と高橋滋樹(たかはし しげき)幹事(右)が訪問されました

今週のお祝い

誕生日祝い・・・豊川忠紀会員、馬上晋会員、福澤正人会員、青山紀美代会員
 結婚祝い・・・無し



三荒会長より誕生日祝いを受け取られた青山紀美代会員と馬上晋会員

メイクアップ (MUP) 1名

米山俊二会員

本日のスマイル 12名

ゲスト 1名

平塚ろう学校 校長 杉崎郁夫(すぎざき いくお)様

ビジター 3名

第8グループガバナー 補佐 三富正規様 (平塚湘南RC)
 秦野ロータリークラブ 会長 郭 根男(かく くんなむ)様
 秦野ロータリークラブ 幹事 高橋滋樹(たかはし しげき)様

卓話・行事予定

8月15日(木) 休会
 8月22日(木) 花火大会 (8/23) に移動例会
 8月29日(木) 休会

第8グループ例会変更

現在ございません

